

レオタイト工法



サンデン(株)寿事業所サッカー場

ノンアスファルトの下地が、
プレーヤーを守る。

レオタイト工法は、人工芝舗装の下地舗装に、碎石路盤舗装を採用したり、既設クレイ舗装グラウンドの表層材を再利用したりする場合に、下地舗装に表面固定材(グランドガードE)を散布することによって、表面を安定させ、施工中・施工後に下地に不陸が生じないよう平坦性を保持する工法です。

人工芝下地舗装 表面固定化工法

1. 衝撃吸収性が高くなり、安全性が向上
2. 蓄熱性が低減され、夏場の暑熱環境を抑制
3. 発生残土を抑制し、環境負荷・コストを低減

* スポーサーフA(ラムダ)は、レオタイト工法を採用



レオタイト工法に使用する
「グランドガードE」は
有機溶剤を含まない環境対応型の
高分子合成樹脂エマルジョンです



路盤工



表面固定材の散布



レオタイト工法による下地舗装完了